



特集

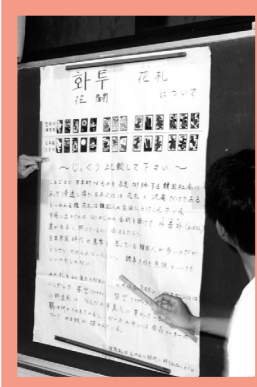
高等学校の授業に 広く韓国朝鮮語を

— 外国語および他の科目の授業例

1997年に実施した高等学校の韓国朝鮮語教育に関する調査以来、TJFは関連する授業記録を蓄積しながら、高等学校で実施されている多様な韓国朝鮮語の授業の共通点をさぐってきました。

2002年からセンター入試の外国語科目に「韓国語」が導入され、2003年度から「総合的な学習の時間」等を通じて隣国のことばに接する機会が増えています。他教科の授業で隣国とその文化に触れる試みも少なくありません。地方自治体の交流事業、韓国の学校との姉妹校交流や修学旅行等の行事を授業と関連づける試みも行われています。

今号では、このような外国語科目としての韓国朝鮮語の授業だけでなく、隣国や隣国のことばの学習を授業に導入している実践の一部を紹介します。



特集 p.1

高等学校の授業に広く韓国朝鮮語を — 外国語および他の科目の授業例

隣国のことばの学習を国語の表現研究で
韓国朝鮮語の授業をチームティーチングで
韓国の姉妹校との交流と関連づけて
高等学校における韓国朝鮮語授業の開設状況

TJFの事業 p.10

第2回初級学習者のための「話してみよう韓国語」
参加者募集

シリーズ

見る聞く考えるやってみる授業② p.12

教室を飛び出そう! あーすぶらざ展示室での地球市民学習

素顔の高校生⑦ p.16

今、一生懸命になれたらそれでいい。

TJFニュース p.14

TJFホームページ更新

日本語を教えている中国の小学校に副教材を寄贈

高等学校中国語教師研修会の準備作業進行中

事業報告(7・8・9月)

隣国のことばの学習を 国語の表現研究で

——中央大学杉並高等学校教諭菊地明範氏の取り組み

「総合的な学習の時間」等の導入によって、韓国朝鮮語(以下「韓語」と省略します)と関連する授業がしやすい環境が整ってきているようです。今号で紹介する高等学校はいずれも、生徒の大半が大学や専門学校に進学する、いわゆる進学校であり、個性的な授業を実践する土台を学校が用意しているといえますが、これらの事例は他の学校の授業運営の参考になるヒントを提供しています。

隣語と比較して日本語を学ぶ

中央大学杉並高等学校(東京)の国語教師、菊地明範氏が実践する比較表現の授業は、3学年対象の自由選択クラス(2単位)です。生徒が隣国のことば(「隣語」と比較しながら日本語の特徴をさぐり、ことばに対する<能動的>な姿勢を養うことができるよう指導しています。

菊地氏は、90年代前半に韓国テグ市の大学で2年間日本語を教えながら、韓国語を学びました。現在は高校教師の傍ら、大学でも日本の古典文学を教えています。日本語に関する広い知識を駆使するとともに、隣国のことばとその文化を生徒に伝えようとする思いが授業を支えています。その情熱は、教室内だけにとどまってはいません。

■年間授業計画：中央大学杉並高等学校第3学年「比較表現」

学期・月	学習単元	学習事項・学習方法等
1 学期	4月	ガイダンス 提出用書類の書き方
	5月	書簡の書き方 ブレンストーミング
	6月	中島敦『巡査の居る風景』を読む
	7月	「隣語」の音・ハングルの成り立ち 「隣語」の挨拶を覚えよう
夏休み	身の周りにあるハングルを採集しよう	
2 学期	9月	ハングルの慣れよう 「隣語」で自己紹介をしてみよう
	10月	数字を覚えよう 単語で話そう
	11月	疑問・否定・存在を表す
	12月	歌を聴く・映画を観る
	冬休み	
3 学期	1月 2月	日本語について文章をまとめる

文章を書くという能動的な行為

年間授業計画(左下の表を参照)に沿って、1学期に原稿用紙の使い方を手始めに書簡文の書き方を覚えた生徒たちは、3学期の終わりには、日本語についてそれぞれある程度まとまった考えを持つようになります。その間に、中島敦『巡査の居る風景』を読み、作品の中で使われているカタカナ語に着目し、日本が朝鮮半島を植民地にしていた時代に、そのカタカナ語がどのような意味で使われていたかを学びます(下の引用部分を参照)。74年前に書かれたこの短編は、日本語で書かれていても、生徒たちにとっては、いわば外国の小説です。

個々の単語の持つ意味やニュアンスが揺らいだとき、母語に対する疑問が生じます。日本語に取り込まれた「隣語」の単語を媒介にして、ふだん無意識に使っている日本語を見直し、ことばに対する感性を高めていくわけです。こうして生徒一人ひとりが自分のことばについて考えたことを整理していきます。その結果、3学期の終わりには、多くの生徒が日本語に関する文章を<能動的>に書くようになります。

★菊地氏の文章をもとにTJFが執筆・編集しました。

『巡査の居る風景：1923年の一つのスケッチ』より

電車の中は混んでいた。スケートをぶら下げた学生。鼻を真赤にした会社員風の男、買物包をかかえた奥さん。子供を尻にのせたオモニ^{★注1}、厚い茶色の毛皮に襟を埋めた両班^{★注2}達。

しばらくすると、突然その中から何か言い争う声が聞えて来た。乗客の視線は一齐にその方に向けられた。見ると、腰かけている粗末な姿をした一人の日本の女と、その前の吊革につかまっている白い朝鮮服をつけた学生らしい青年とが言い合っているのであった。

——せっかく、親切に腰かけなさい、いうてやったのに。——と女は不平そうに言っているのだ。

——しかし、何だヨボ^{★注3}とは。ヨボとは一体何だ、——

——だから、ヨボさんいうてるやないか、

——どっちでも同じことだ。ヨボなんて、

——ヨボなんていやへん。ヨボさんというたんや、

女には何にも分らないのだ。そして怪げんそうな顔付をして、他の人達の諒解を得ようとするかのようにあたりを見まわして、

——ヨボさん、席があいてるから、かけなさいて、親切にいうてやったのに何をおこってんのや。

車内には所々失笑の音が起った。青年はもう諦めてしまつて、黙つてこの無智な女を睨みつけた。教英^{★注4}はまたしても憂鬱になつて行つた。

(ちくま日本文学全集『中島敦』pp. 295-296から引用)

★注1: 母親。

★注2: ヤンパン。高麗・李氏朝鮮における官僚に任ぜられた特権的階級。

★注3: おい。おまえ。主に夫婦間で使われる呼びかけのことば。日本が朝鮮半島を植民地としていた時、侮蔑二人称として日本の軍人や警官らによって朝鮮人に対して使用された。

★注4: 主人公の趙教英。

中央大学杉並高校と 中山外国語高校の交流

中央大学杉並高等学校教諭 菊地明範

2003年3月16日から3日間、中央大学杉並高等学校の教職員と生徒(計57名)は、交流協定を結んでいる韓国の中山(チュンサン)外国語高等学校を訪問した。学校はソウルの南東約200キロ、忠清北道忠州(チュンジュ)市にある。

手づくりの交流準備

姉妹校提携の話があつてから5年目の2001年3月に協定を結び、その年の7月にチュンサン高校の生徒21名が中大杉並高校を訪問することになっていた。しかし、来日3日前に韓国からかかってきた一本の電話で、突然中止になってしまった。「教科書問題」の余波を受けたのだ。

中大杉並高校では、初めての交流を前にさまざまな準備を進めていた。交流のシンボルとなるロゴも、ロゴ入りのTシャツも生徒たちがつくった。箱根で行う合同キャンプのプログラムづくり、日韓カレー合戦と称する野外炊飯など、生徒を中心に盛り上がりを見せる一方、教職員には、簡単な韓国語のしおりが配布されていた。

高校生としてできること

受け入れ態勢がすべて整った後での来日中止であった。チュンサン高校の生徒も中止決定に納得がいかなかった。2人の生徒が韓国大統領に直接メールで抗議したという。

中大杉並高校では、3年生を中心とする生徒が3時間に及ぶ討論会を主催した。教科書問題や靖国参拝問題にも話が及んだが、しだいに「高校生としてできることは何か」「理屈ではない、彼らに会いたいんだ」という点で生徒の間に合意が形成されていった。その後、生徒は校内で署名を集め、韓国訪問を実現するよう学校側に働きかけた。2002年に入って、3月に韓国訪問が決定した。参加希望者は51名になっていた。

新しい時代の到来

ソウルで景福宮や国立博物館を見学し、南北分断の象徴である板門店(バンムンジョム)や政治犯収容所だった西大門(ソデムン)監獄を見学した生徒たちの多くは、苦しい思いにとらわれていた。それについて話し合った後チュンジュに向かったが、その間も彼らの表情は暗かった。パトカーに先導された2台のバスが「歓迎中央大学杉並高校」と書かれた横断幕をくぐり、道の両側に並んだチュンサン高校の生徒に大きな拍手で迎えられた時、生徒たちの表情もやっと明るさを取り戻した。

歓迎式典でチュンサン高校の生徒が日本の歌謡曲を披露

した時、中大杉並高校の生徒数名が舞台上駆け上がると、他の生徒もそれに続き、全員が肩を組んでの大合唱になった。中大杉並高校の生徒が浴衣で「中杉音頭」を踊った時は、チュンサン高校の生徒も伝統衣装に替えていた。生徒全員がそれぞれの衣装に身を包み、大きな輪になって韓国の踊りを踊った。生徒たちは「日韓の新しい時代の到来」を肌で感じた。

悩みが結びつきを強くしていく

2002年の夏、チュンサン高校の生徒31名が来日した。10泊11日の間に、さまざまな体験をもらった。ディズニーランドに行った時は、両校の生徒が数名ずつのグループで行動した。全員が入園してしばらくすると、担当教員の携帯電話がけたたましく鳴り続けた。

日本の生徒は、自分たちが考えていたルートで効率よく回ろうと提案する。ディズニーランドの予習をしてきたという韓国の生徒たちも、自分たちで考えたルートを主張して、互いに譲らない。グループに仲良しがいないと言って、他のグループと行動する生徒も出てきた。よかれと思って行動したことが相手側に受け入れられず、たがいに遠慮していた不満が噴き出したのである。中大杉並高校の生徒たちの中には、涙で目を腫らした者もいた。

些細なことのようにだが、生徒一人ひとりが深く悩んだ一日だった。こういう悩みが、人と人の結びつきを強くしていくのだ。

生徒のアイデアを活かす

解散式の日、チュンサン高校の生徒を乗せたバスが中大杉並高校の玄関を出て行く時、生徒たちは涙を流して見送った。バスが見えなくなると、生徒の一人が「成田まで行こう」と言い出し、大きなテグッキ(韓国の国旗)とチュンサン高校の校旗を学校から借りて成田に向かった。バスより早く到着した彼らは、成田空港でもう一度別れを惜しんだ。

教員の思惑を超えた生徒の取り組み。これこそ、国際交流の醍醐味だ。国際理解教育の一環として行われている両校の交流が、今後も「教育の機会」を提供し続けることを期待したい。生徒の発想は、教員が想像する以上に自由で豊かである。若々しい彼らのアイデアを活かしながら、今後の交流を進めていきたい。



交流プログラムの終わり、「さよならパーティ」の席で記念撮影。

韓国朝鮮語の授業を チームティーチングで

——大阪府立阪南高等学校教諭任喜久子氏の取り組み

韓国語教育を外国語科の枠内だけで考えるのではなく、他の教科の一部に導入したり、学校行事と関連づけた授業が、日本の高等学校で行われており、今後ひろがるのが予想されます。その理由の一つは、「隣国のことばと文化が、日本人自身の問題として主体的に関わりやすい異文化理解教育、あるいは国際理解教育として取り組みやすいテーマ」だからだと、大阪府立阪南高等学校の任喜久子(イム・ヒグジャ)氏は言います。

隣国のことばである韓国語の学習は、このような試みの導入として大変教育効果が高いと思われます。以下の事例で、国際理解教育としてのことばの学習という観点から、韓国語教育とJETプログラム^{★注1}の関係について考えてみました。

英語教育のためのJETプログラム

2002年7月現在、JETプログラムによる外国青年の招聘人数は6,273名(滞在歴1-4年)。内訳は、外国語指導助手(ALT)5,676名、地方自治体の国際交流事業に従事する国際交流員(CIR)568名、その他となっています。対象地域は38カ国に及びますが、英語圏からの招聘が大半を占めています。

ALTの99%以上が英語圏からの招聘です。89年にフランス・ドイツ(CIRも同年から)、98年に中国(CIRは92年から)からの招聘が始まりましたが、英語以外の外国語すべてを合わせても、ALT全体の1%にも達しません。外国語教育の充実をめざしているJETプログラムが、「国際化」のための英語教育に主眼を置いていることは明らかです。

英語圏以外の地域で多いのは中国と韓国で、韓国からは65名(CIR 55、ALT 4、その他)が招聘されていますが、CIRが約85%を占めています。中国からは83名(CIR 67、ALT 11、その他)、CIRが約81%です。ロシア(13名)やブラジル(18名)からの招聘者がすべてCIRである一方、英語圏とされる南アフリカ(46名)とジャマイカ(34名)からの招聘者は、すべてALTになっています。

英語と韓国語の抜本的な違い

JETプログラムの主眼は英語圏のALTにあり、受け入れ校の教員とのチームティーチング(TT)が前提とされています。TTという便法がなければ、教員免許を持たず、外国語の教授法についても十分な研修を受けていないALT一人が教壇に立つことはできないからです。

韓国語のALTは、全国に4人しか配置されていません。また、英語のALTと異なり、配属先の学校には、彼らを指導できる専任の韓国語教師がいない場合が多いのです。全国の公立高校

に採用されている韓国語の専任教諭は、大阪府6名と長崎県1名(2003年度から)だけです。多くの学校において、韓国語の授業は英語科や国語科の教員の兼任または非常勤講師によって支えられているのです。

韓国語のALTとチームティーチング

現在招聘されている韓国語のALTは、鳥取県など交流事業に積極的な自治体の要請に基づいて配属されていることが多いようです。地域も学校も国際交流事業にたいへん意欲的なのですが、自治体の意向が先行され、基盤となる学校側の受け入れ態勢が整っていないことが多いのです。教科書の選択や授業案づくり、クラス運営等すべてがALT一人に委ねられることも少なくありません。このような状況の中で、阪南高校は2000年度から韓国語のALTを受け入れ、TTを成功させています。

大阪には生野区や西成区などの在日コリアン集住地域があり、在日の生徒も多く在籍しています。現在、大阪府内の公立高等学校25校で1,150人の生徒が韓国語の授業を履修しており、私立校を含め、全国の高等学校の韓国語履修者の20%以上が大阪府内の学校に在籍しています。

阪南高校で韓国語を教えて11年になる英語教師の任氏は在日2世です。韓国語ALTの金智賢(キム・ジヒョン、2000-02年)氏、林熙眞(イム・ヒジン、2003年から)氏とTTの授業を行っています。林氏は、大学時代に鹿児島に1年間留学した経験もあり、日本語も堪能です。韓国語のALTが日本語に堪能なことは、他の教科の教員との連携を容易にしています。他の教員の協力を得ることで、韓国語のALTを通じて生徒たちの隣国理解を深めることもできます。

阪南高校の韓国朝鮮語I

阪南高校では、1学年は全科目共通履修です。2学年から文系、理系、国際文化コース(2学年に韓国朝鮮語または中国語の選択必修が4単位で、3学年は継続して2単位が必修)に分かれます。国際文化コースを選択する生徒の人数は多くありませんが、選択した生徒は意欲的に学習しています。

韓国朝鮮語Iの授業目標は、①ハングル文字を自由に書いたり読んだりすることと基本的な文法事項を学習すること、②隣国の文化風習について理解を深め、自己と自己を取りまく社会について振り返ることです。詳細は、右ページの年間授業計画をご参照ください。

教科書は、『好きやねんハングル』試用版^{★注2}(2学年の4-10月)と『ことばの架け橋』(2学年の10月から3学年まで)。音楽CD、映画ビデオ

オのほか、カードなどの自主教材も使います。民族楽器の実演や調理実習の時間も、隣国の文化理解に欠かせない要素です。生徒の学習意欲を高めるための工夫の源泉は、任氏が高等学校の講師時代に小学校の民族学級や夜間中学などの民族教育に携わった経験と、英語教諭になってからのTT教育の経験、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワークが推進する研修事業などにあると言います。

■年間授業計画:大阪府立阪南高等学校第2学年「韓国朝鮮語I」

学期・月	学習単元	学習事項・学習方法等
1 学期	4月 教材『好きやねんハングル』 *韓国朝鮮語について	*韓国朝鮮語を学ぶ上での背景知識 *基本的な母音と子音
	5月 〔文字と発音〕ハングルの学習	*あいさつ表現、教室用語 *子音の有声音化
	6月 *ハングルで日記を書いてみよう *あいさつ 〔文法と会話〕基本会話と応用会話 *自己紹介 *趣味・スポーツについてたずねる 前期中間考査(6月中旬)	*重母音 *激音・濃音・終声・連音化 随時:カードゲームで単語を覚える *指定詞の丁寧形(肯定文・疑問文) *指示語、否定文
	7月 *「それは私ではありません」	*所有表現 *名前について(創氏改名、本名等) 今月の歌[a](4,5,6,7月)、ビデオ[b]
夏休み	〔夏休みの課題〕	*文字と発音、単語、既習文章の復習プリント
2 学期	9月 *漢数詞「誕生日はいつですか」 *固有数詞「今、何時ですか」 前期末考査(9月下旬～10月初旬)	*伝統芸能(民族楽器・舞踊)[c] *漢数詞・固有数詞(年月日、曜日、時刻の言い方)
	10月 *伝統行事「秋夕」について *買い物「いくらですか」 教材『ことばの架け橋』 *第7課「そこにありますか」	*法事など、在日朝鮮人の生活に残る民族的な風習について *数助詞(～枚、個、台、匹、ウォン等) 『好きやねんハングル』終了 *存在詞、動詞、形容詞の丁寧形
	11月 *第8課「1万3千ウォンです」 *第9課「どこに行かれますか」	*指示語、助詞、位置を表す表現 *疑問詞の復習、買い物に関わる表現 *尊敬形(名詞、語尾)、発音の変化(鼻音化・激音化)
	12月 後期中間考査(12月初旬) *第10課「もう少しまけてください」 *TJF主催「高校生のフォトメッセージコンテスト」の紹介	*連用形とその縮約形 今月の歌[a](9,10,11,12月)、ビデオ[b]、調理実習[d]他 *インターネットで検索、前年度の生徒の作品を見る
冬休み	同コンテストへの取り組み	有志生徒のみ参加
3 学期	1月 *伝統行事「正月」について *ハングル書道の紹介と実習 *「話してみよう韓国語」コンテスト参加	*新年のあいさつ、民族遊戯「ユンリ」の紹介 *自分の好きな言葉を考え、毛筆で書いてみる *内容理解と発音練習 *会話体(略待上称形、尊敬形)
	2月 *第11課「ちよっとお待ちください」 *会話表現の復習 学年末考査(2月下旬)	今月の歌[a](1,2月)、ビデオ[b]、調理実習[d]他
春休み	〔春休みの課題〕	(1)復習プリント、(2)隣国に関わる新聞・雑誌の記事を見つけて切り抜きをし、その記事に関する自分の感想を書く

[a] 今月の歌:唱歌「カナタラの歌」「ヌン・ヌン・ヌン」「バラマウム・ハヤンマウム」「ウリエソウォン」、民謡「アリアン」、歌謡曲「リムジンガン」「アッチムイスル」「ノンハルスイツソ」「ソムル」ほか。[b] ビデオ:「洪吉童」「八月のクリスマス」「シュリ」「美術館の隣の動物園」「チョンカン」ほか。[c] 民族楽器・舞踊:サムルノリ(打楽器演奏)とプチェチュム(扇舞)の紹介。文化祭で「朝鮮文化研究会」の生徒と生徒有志の合同による舞台発表。[d] 調理実習:「キンパ」「チジミ」「ピビンバ」「トック」ほか。中国語選択生徒と合同、中国料理の時もある。

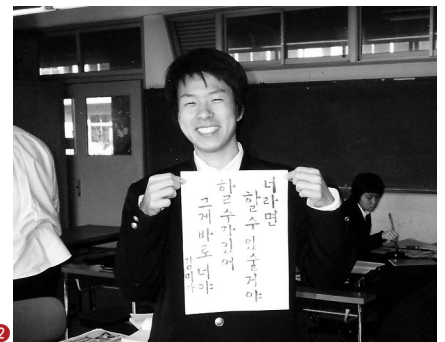
★注1:JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)は、世界的なグローバル化の進行と日本の国際化に対応するため、英語圏を対象に1987年に創設された国家事業です。地域における国際交流の推進と中高校における外国語教育の充実をめざしていると言われます。

★注2:関西の高校教員を中心に大学教員の協力を得て制作した、日本で初めての高校生向け韓国語教科書。『国際文化フォーラム通信』第54号 p. 3参照。

★任氏の文章をもとにTJFが執筆・編集しました。



1



2



3



4

1最後の授業を終え、チームティーチングの先生2人と生徒全員で。2初めてのハングル書道。思い思いのことばをハングルで。「お前ならできる……できるからお前」3阪南高校を訪問した冠岳情報産業高校(ソウル)の生徒たちと一緒に。4高校の3年間、文化祭でサムルノリ(打楽器演奏)・プチェチュム(扇舞)・カルチュム(剣舞)を発表してきた生徒たち。

韓国の姉妹校との交流と関連づけて

— 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校講師康龍子氏の取り組み

帝塚山学院泉ヶ丘高等学校(大阪府)の国際科コースでは、1学年の時、第2外国語を選択必修します。英語10単位、第2外国語2単位、社会科5単位、国際理解2単位を履修するのが特徴です。2学年には、1学年に選択した第2外国語または数学を選択します。1学年の11月ごろ、韓国の姉妹校の生徒と文通を始め、翌年7月には慶州の姉妹校の生徒が同校を訪れます。一方、その年10月に国際科の2学年全員が研修旅行で韓国に行き、慶州とソウルの学校を訪ねます。この研修旅行には韓語を選択していない生徒も参加します。選択者は、これら姉妹校との交流事業に参加することを前提に勉強することになります。

年間授業計画と研修旅行前の特別授業

国際科コースの韓国語選択クラスの目標は、次の3点に集約できます。①挨拶と自己紹介ができ、疑問詞を使った基本会話ができる。②研修旅行で使える基礎会話を覚える。③韓国朝鮮と在日の歴史・文化・習慣を知り、理解を深める。

語学学習と研修旅行を結びつけるだけでなく、教師とのやり取りを通じて生徒が自分を見直す作業を伴う授業を展開していくことを目標としています。

夏休み前の、国際科の2学年生徒全員を対象に行われる特別授業(3日間、計5時間)では、生徒が次の点を理解し納得するよ



①



②



③

① 淑明女子高校(ソウル)と帝塚山学院泉ヶ丘高校のパートナーを組んだ高校生たち。② 蓮花女子高校(慶州)を訪問した際のホームステイ宅で食卓を囲んでくつろぐ生徒たち。③ 韓国語を選択してよかったと、旅行前の不安も消え、韓国を満喫する生徒たち。

■年間授業計画: 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校第2学年「国際科コース」

学期・月	学習単元	学習事項・学習方法等	
1 学期	4月 (5回)	『好きやねんハングル』会話と文法 (5課6課基本、応用会話)	*単語100問テスト(韓→日) *1年の復習 *漢数詞、固有数詞の学習 *時間の言い方 *買い物
	5月 (7回)	『ことばの架け橋』 (7課用言の文) 国際(異文化)理解	*「個、～枚、～冊」等の学習 *食べ物の名前 * -습니다/습니다 -지 않습니다 *中国瀋陽での事件。韓国・朝鮮・中国・日本の現状、歴史の説明。感想文提出(5/10) *NGOの説明
	6月 (7回)	1学期末テスト	* 노래: 조성모 [To Heaven] * 期末テストの答え合わせ * 新聞の切り抜き活用(サッカーワールドカップ関連他)
夏休み	特別授業(国際科2学年全員対象) 課題	*5時間 実践例参照 *習った単語と本文およびその翻訳をレポート *単語50問テスト(韓→日)のための自主学習 *「サッカーワールドカップを通しての日韓関係について」レポート(400字、1枚以上)	
2 学期	9月 (7回)	1学期の復習 『わー通じたハングマル』 (出会い)[市内見学]	*単語50問テスト(韓→日) *1学期の復習 * 해요体の学習 -아요/어요 -(으)세요 研修旅行会話中心 *あいさつ、自己紹介、将来の夢、待ち合わせ、ショッピング、食堂での会話
	10月 (5回)	10/15～10/19 研修旅行(韓国) 『ことばの架け橋』 (8課:数詞・疑問詞)(9課:尊敬形)	*実践会話 *研修旅行後、簡単なアンケートを取る * -시 -고 있어요 -고 싶어요, -아/어 주세요
	11月 (8回)	(10課:連用形・해요体) 国際(異文化)理解 ビデオ	*「戦後補償」「日韓骨髄バンクの提携」に関するビデオ、KNTVの幼児向け番組ビデオ
冬休み	2学期末テスト 課題	*期末テストの答え合わせ *習った単語と本文およびその翻訳をレポート *単語50問テスト(韓→日) *2学期の復習	
3 学期	1月	『ことばの架け橋』	*-(으)세요 -는데요 **語尾の種類のまとめ
	2月 (9回)	(11課:해요体の尊敬形) 国際(異文化)理解 調理実習 3学期末テスト	비빔밥 떡국 *調理実習:
春休み			

教科書:『好きやねんハングル』『ことばの架け橋』『わー通じたハングマル:高校生のための交流語彙集500』
副教材:自主プリント、ビデオ

うに指導します。①違いをプラスに受け止め、相手を知り、理解することの重要性を知る。②ものの見方や考え方が一つでなく、複数あることを知る。③研修旅行で韓国に行く意義と目的を生徒自身が考える。

授業を受け持つのは、在日2世の康龍子(カン・ヨンジャ)氏。民族系の建国高等学校でも教えています。教師と生徒とのやり取りに着目しながら、授業を通じて生徒が変化していくようすの一端を見てみましょう。それを可能にしているのは、在日の自分に選挙権がないことを生徒に向かって問いかける康氏の真摯な姿勢です(下の囲み「私に何ができるだろう。」参照)。

私に選挙権がないこと知ってた？

韓国語や国際理解等の授業で歴史について知識を得た生徒は、「何も知らない・よく知らない」という次元から「何となくわかる」次元に移行します。視覚教材・ビデオ・写真や参考文献を活用した研修旅行前の事前特別授業で、韓国や韓国人について説明を受けたり、教師の経験談などを聞いたりして、一歩進んで他者への理解を深めます。

【2時間目】私に何ができるだろう。

1. いろいろな差別はなぜ起こるのだろうか。
 - (1) 教師：どんな差別が実際にあるのか。
生徒：障害者差別・男女差別・外国人差別・被差別部落差別……。
教師：簡単に説明する。
 - (2) 教師：では、なぜ差別は起こるのか。
生徒：そんなこと考えたことない……。なんでだろう。
強いかわいかな。多い、少ないかな。
教師：いろいろな例をあげる(生徒の目線で分かりやすく伝える)。
例) —メガネをかけているかわいかな(小1と高2では人数が違う)。
—太っているかわいかな。
—障害のあるなし。男性か女性か。外国人か日本人か、それだけのこと。
—私(康氏)に選挙権がないこと知ってた？ 父の代から50年以上日本に住んでるのよ。
—どうして、被差別部落の問題が起こり続けるの。同じ日本人なのに。
—マイノリティー、マジョリティーについて。
 - (3) 教師：なぜ差別が起こるのか、なぜいじめが起こるのか。
生徒：「違い」「異なり」から起こるようだ。
教師：「違い」「異なり」
→マイナスに働くと、ちょっと変→いじめ→差別に発展する可能性がある。
2. 「違い」「異なり」をプラスに受けとめることから始まる。
 - (1) ものの見方、考え方は一つではない。いろいろな角度から物事を見る必要性。
例) 板書用のマジックを、角度を変えて見せる。
 - (2) 相手との「違い」(それが痛みであっても)もひっくるめて知ることが「始まり」。「違い」がプラスに働くと、「相手の違いを認める」→「思いやり」に発展。
—相手の違いを認めるためには、相手について知り、意識し、理解し、認識する必要がある。それによって相手のことがわかり、相互に「思いやり」が生まれるはず。
—世界には、いろいろな人がいる。個性を大事にし、多様性を認め合うことが大切。

理解が深まるにつれて、「自分は加害者ではない」「私たちにどうしろと言うの」「昔のことを言われても」「研修旅行に行くのがとても不安」などといったとまどいや不安が生じてきます。この段階で、まず知ることの必要性を説き、韓国朝鮮に対する加害行為を国家や他人のせいにするのではなく、個人としてどう考え、どう生きて行くべきかと問いかけます。

「さあ、何から始めようか……ペンパルと仲よくなるか。韓国を自分の目で見て体感してみようか」と問いかけます。「英語で話すのもいいけど、韓国語で話すと親近感が増すよ」と話し、積極的に韓国語会話を勉強するように仕向けます。比較的英語が得意な生徒たちでもあるので、ハングル文字のしぐみに大いに興味を示します。

自己紹介や最低限必要な語句も授業時間内に暗誦できた人から終わることを試みていますが、頑張って取り組んでくれます。特別授業が終わるころには、生徒たちは研修旅行先がなぜ韓国なのかを理解し、参加する意義と目的を理解します。そして研修旅行後、生徒たちは大きく変化していきます。

★康氏の文章をもとにTJFが執筆・編集しました。

生徒の感想文

研修旅行前

A: 韓国人の大学生から日本に対する気持ちを聞いて、やはりショックでした。関係ないと言い切ることができない理由もハッキリ気づかされたし、私が何をしたらいいのか考えられるようになりました。韓国のことを固定した見方でしか見ていなかったけれど、ビデオを見たり、先生の話を聞いて、視野も広がったし、いつも考えないようにしていたことを直視できました……。文通相手と話すことができたなら、もっと仲良くなれそうな気がします。

B: 韓国語の特別授業でこんな勉強すると思わなかった。先生の言うことには一語一語納得させられたし、感動した。韓国のこと知るだけなのに、人間の違いとか思いやりとかが関係すること、「知る」ことがこんなに大切で人を成長させることやとは思えなかった。

差別のことは昔から学校でずう一つとビデオを見たり、学んだりしたけど、まったく改善されてへん。

先生に選挙権がないって聞いた時は、心底びっくりした。こんな間近に差別を受けてる人がいると知って他人事でない気がした。ただペンパルに会って、友だちと騒いで韓国を見るだけやと思ったけど、人間を成長させる絶好のチャンスなんやと思った。

今日の先生のことばは忘れたくない。本当にそう思った。思いやりってなんかいいことばやと思ってたけど、人間として当たり前のことなんやってわかった。

研修旅行後

C: いろいろな経験をし、いろいろな感情を知った。怒り、憎しみ、悲しみ、恥ずかしさ、恐ろしさ、楽しさ。これらの感情を絶対に忘れたい……。「それでも日本が好きだ」と言ってくれる韓国の人たちの優しさを裏切らないように、自分も日本も変わっていったらと思う。

D: 研修旅行を通して改めて思ったことは、韓国語を選択してよかったということ。ペンパルと話をしたり、買い物をしているとき、授業で習った会話を実践できたことがとても嬉しかった。片言の会話だったけどお互いの気持ちが通じた。

高等学校における韓国朝鮮語授業の開設状況

1999年発行の調査報告書で韓語教育に取り組む高等学校のリストを公表してから、TJFは高等学校韓国朝鮮語教育ネットワークほかの協力を得て、開設校の動きをとらえてきました。本号で掲載するリストは、①2001年度に履修者数を含む状況を確認できた高等学校に加えて、②2002年度以降に開設したか、開

設する予定の学校と、③1997-98年度に開設状況を確認し99年の(左の段 既述)調査報告書のリストに掲載した高等学校で、01年度には開設していない学校を載せています。②と③に該当する学校については、学校名の後にアルファベットで開設時期を表示しています(右ページの「表の見方」学校名3参照)。

都道府県	学校名	履修形態	学年	単位	履修者
北海道	札幌国際情報		23	2	20
	札幌静修*	選必	23	2	24
	札幌聖心女子学院*[e]				
	札幌東商業	選必	3		
岩手	北海道千歳		2	2	31
	不来方	選択	23	2-3	6
	花巻南	選必	1/2/3	2/2	32
	盛岡スコーレ*		23/3	2/2	18
宮城	尚綱女学院*	選択	3	2	5
	仙台育英学園*		2	2	12
	仙台白百合学園*	選択	23	2	17
	宮城野[e]	選択	3	3	
山形	基督教独立学園*	選必	3	2	8
	酒田南*	必修	1/2/3	1/1/1	491
	天童	選択	2/3	2/3	11
	山形城北女子*	必修、選必	2/3	2/2	31
群馬	白根開善*[e]	選択	23	4	
	高崎経済大学附属		2	2	20
	慶応義塾志木*	選択	12	2	20
	自由の森学園*	選択	23/3	2/2	9
埼玉	細田学園女子*		2	2	31
	立教*	選択	3	2	7
	早稲田大学本庄高等学院*	選択	3	2	36
	渋谷教育学園幕張*	選択	12	0	6
千葉	千葉明德*	選択	2/3	2/3	47
	流山東	選必	1/2/3	2/2/2	42
	二松学舎大学附属沼南*[a]				
	飛鳥(旧北高校)[e]				
東京	桜美林*	選択	123/23	2/2	28
	葛西南定時制	選必	34	2	9
	関東国際*	必修	1/2/3	6/6/6	42
	啓明学園*	選択	3/123	2/2	12
	国際	選択	2/3	2/2	7
	狛江[e]	選択	3	2	
	芝浦工業大学付属*		123		10
	専修大学附属*	選択	3	2	39
	中央大学杉並 国語表現	選択			
	千代田女学園*	選択			
	都立大学附属	選択	2	2	3
	西	選択	2	2	5
	二松学舎大学附属*	選択	3	2	1
	晴海総合[e]				
日比谷		2	2	14	
深川商業		3	2	7	
南葛飾定時制[e]	必修(4学年選択)	2/3/4	2/2/2		
武蔵*	選択	123/123	2/2	8	
和光*[b]	選択				
新磯[e] 時事問題	選必	2	2		
栄光学園*	選必	1	0	13	
神奈川総合	選必、選択	単位制	2/2	13	
金沢総合[c]					
川崎南[b]					
関東学院*	選択	23	2	25	
岸根[e] 地理A	選択				
清水ヶ丘[c]					
商工	選必	23	2	17	
相武台		2	2	12	
大師	選択	単位制	4	2	
橘女子*	選必、選択	2/3	2/2	15	
横浜翠嵐定時制[b]	選択	1234	2	35	
新潟商業	選択	2	2	27	
新潟市立明鏡(市)	選択	123	2	10	
北越*	選必	3	2	38	
山梨	甲府城西	選択	23	2	3

都道府県	学校名	履修形態	学年	単位	履修者
長野	飯田風越 国際教養科[b]	選択	2	2	
	上田西*[e]	選択	1/2/3/4	2/2/2/2	
	白田		123	1	17
	大町北[c]				
富山	塩尻志学館(前塩尻)[b]	選択	2	2	20
	長野西 国際教養科[b]	選択	2	2	
	松本蟻ヶ崎	選択	3	2	27
	新湊		23		27
石川	金沢辰巳丘[e]	選必	2/3	2/2	
	金沢伏見[e]	選択	2/3	2/2	
	金沢北陵	選択	2	2	18
	啓新*[e]				
福井	敦賀賀比*[e]	必修	1/2/3	8/9/11	
	土岐紅陵[e]	選択	3	2	
	安城学園*	選必	3	3	19
	名古屋工業(市)[d]				
岐阜	山田(市)[d]				
	卯学園	選択	23	2	10
	久居	選択	23	2	23
	愛農学園農業*	選択	123	2	7
愛知	石部[e]				
	近江兄弟社*[e]	選択	1/2/3/4	1/1/1/1	
	北大津	選択	2	2	9
	国際情報	選択	23/3	2/2	26
三重	水口[e]	選必	2/3	2/2	
	守山女子(市)	選必	23	1	10
	京都外大西*		23	2	26
	嵯峨野	選択	2/3	2/2	
滋賀	同志社*[e]	選必	3	2	
	同志社国際*	選択	1/2/3	2/2/2	25
	花園*		23	2	21
	日吉ヶ丘(市) 英語科	選必、選択	2/3	2/2	9
京都	南京都*[e] 国際交流コース				
	旭 国際教養科	選択	2	2	7
	阿倍野	選択	3	2	4
	今宮	選択	23	2	8
	今宮工業定時制	選必	1/2	2/2	35
	大阪国際滝井*	選択	3	2	20
	大阪女子短期大学*[e] 特別講座				
	大阪成蹊女子*	選択	23	2-4	38
	大阪体育大学浪商*	選必	3	3	26
	貝塚南[e]	選択	3	2	
	柏原東[e]	選択	3	2	
	勝山[e]	選択	3	2	
	勝山(定時制)	選択	3	2	5
	関西創価*[e] 教科外				
柴島(くにじま)[e]	選択	23	2		
大阪	建国*	必修、選必	1/2/3、123	各9、3	130
	此花総合(市)	選択	3	2	12
	金剛学園*	必修	1/2/3	3/3/3	51
	佐野[e]	選必	2/3	2/2	
	佐野工業定時制	選必	12/123	4/8	88
	佐野工業定時制	選必	2/3/2	2/2/2	36
	清水谷[e]	選択	3	2	
	住吉	選必	2	2	18
	帝塚山学院泉ヶ丘*	選必	1/2/3	2/2/1	56
	長吉		2/3/3	2/4/3	102
	西		3	2	34
	西成	選必	2/3	2/2	76
	寝屋川定時制	選択	34	2	23
	花園	選必	2	2	8
阪南	選必	2/3	3/2	23	
枚方[e]	選択	2/3	2		
枚方津田[e]	選択	3	2		

表の見方

■ 学校名

1. 都道府県ごとの五十音順。履修形態が多様な学校は複数行に記載。
2. 学校名の後に*がある学校は私立学校。他は公立学校。
3. 学校名の後にアルファベットがある学校は、2001年度には開設していなかった学校。内訳は、以下の通り。TJFが確認した学校のみ記載。

[a]: 2002年度から開設

[b]: 2003年度から開設

[c]: 2004年度から開設予定

[d]: 2005年度から開設予定

[e]: 以前開設していた(復活する可能性あり)

■ 履修形態

必修: 必修 選必: 選択必修 選択: 自由選択

■ 学年・単位・履修者(履修者数は、2001年度のデータ)

1/2 4/2 68 ⇨ 1学年で4単位、2学年で2単位履修できる。履修者68名

123 2 36 ⇨ 1-3学年のいずれかで2単位履修できる。履修者36名

1/2/3 2/2/2 32 ⇨ 1-3学年でそれぞれ2単位履修できる。履修者32名

※履修者数は延べ数。韓語の授業がカリキュラムに組み込まれていても実際には開設されていないもの、クラブ活動や教科外活動で韓語を教えているものを一部含む。韓国への修学旅行の事前学習等の韓語教育は含めていない。

都道府県	学校名	履修形態	学年	単位	履修者
大阪	福井	選択	2	2	5
	布施(定時制)		3	2	6
	松原	選択	2/3	2/4	16
	三島	選択	123/123	1/1	17
	箕面[e]	選択	2/3	2/2	
	都島第二工業(市)[b]				
	桃谷定時制(昼間部)	選択	全	2/2	15
	桃谷定時制(夜間部)	選必、選択	全	2/2	45
	桃谷通信制(夜間部)	選必	1/2	4/2	68
	桃谷通信制(夜間部)	選択	全/2年上	3/3	38
兵庫	桃谷通信制(昼間部)	選必	1/2	4/2	76
	桃谷通信制(昼間部)	選択	全/2年上	3/3	31
	守口東	選択	3	2	7
	八尾[e]	選択	3	2	
	芦屋(市)[e]	選択	2/3	2/2	
	尼崎		2/3	2/2	21
	尼崎(市)		2/3	2/3	35
	尼崎工業[e]	選択	3	2	
	淡路	選択	2	2	11
	伊川谷	選択	3	2	35
奈良	関西学院高等部*[e]				
	香寺	選択	23	2	13
	神戸甲北	選択	23/3	3/3	40
	神戸国際大学附属*	選必	2	2	20
	松蔭*	選必	3	1	34
	姫路商業[e] 外国語商業				
	湊川	必修	2/3/4	2/2/2	98
	武庫	必修	4	2	7
	六甲アイランド(市)[e]	選択	2	2	
	天理校親里*	選必	123	2	36
和歌山	山辺 総合学科	選択	23	2	13
	星林	選択	2	3	11
	智辯学園和歌山*		1	0	38
	和歌山	選択	12	2	24
	青谷	選択	2/3/3	3/2/3	28
	倉吉北*	選択	2/3	2/3	18
	倉吉北*	必修	2/3	3/3	30
	倉吉産業	選択	23	2	19
	境	選択	3	3	7
	鳥取商業		3	2	33
鳥取	米子		2,3	2	23
	米子南	選択	2/3	2/3	30
	米子南商業[e]				
	キリスト教愛真*	選必	2	2	12
	瀬摩	選択	3	2	34
	浜田商業	選必	23	2	19
	松江商業	選必	3/3	2/2	21
	松江市立女子(市)		3	3	23
	岡山学芸館*[e] 教科外				
	岡山後楽館(市)	選択	1前/後期	1/1	64
岡山	岡山後楽館(市)	選択	3前/後期	1/1	12
	鴨方	選択	23	2	32
	倉敷中央	選択	3	2	31
	安芸	選択	3	2	24
	安芸府中	選択	23	2	12
	五日市	選択	3	2	24
	因島[e]	選択	2/3	2/2	
	大竹	選択	23	2	9
	尾道工業[e]				
	神辺	選択	23	2	10
広島	高陽東		23	2	22
	山陽*[e] 教科外				
	山陽女子*[e]				
	崇徳*[e]	選択	123		

都道府県	学校名	履修形態	学年	単位	履修者	
広島	高宮[e]	選択	123	2		
	西	選択	123	3	55	
	広島観音[e]					
	広島県新庄*[e]					
	広島工業大学附属広島*[e] 教科外					
	広島国際学院*	選択	2	2	25	
	広島商業	選必、選択	2/3	2/2	30	
	広島女学院*	選択	3	2	6	
	広島市立安佐北(市)	選必、選択	2/2	2/2	11	
	広島皆実[e] 教科外					
山口	福山明王台	選択	3	2	10	
	舟入(市)	選必、選択	2/3	2/2	10	
	三次青陵	選択	23	2	6	
	宇部西	選択	23	2	23	
	下関国際*	選必	123	4	8	
	早鞆*[e]	必修	2	1		
	響		23	2	14	
	香川	藤井学園寒川*		1	2	160
	愛媛	新居浜南	選択	23	2	5
	高知	北条[e]	選択	2	4	
福岡	高知東	選択	23	2	4	
	沖学園*[e]					
	九州国際大学付属*		2/3	2/2	30	
	慶成*[e]	選必	2	2		
	東鷹		23	2	39	
	戸畑商業(市)[e]	選必	2/3	2/2		
	中村学園三陽*	選択	2/3	2/2	22	
	博多青松	選択	学年なし	4/2	18	
	福岡女子(市)[e]					
	福岡第一*[e]	教科外				
佐賀	唐津北[e]	選択	2/3	2/2		
	唐津商業	必修、選択	2/3	1/3	215	
	神埼清明		3	2	29	
	高志館	選択	2/3	2/2	33	
	佐賀北	選択	3	4	16	
	佐賀商業[c]					
	対馬 国際文化コース[b] 専門コース					
	長崎	豊玉[e] 必修クラブ				
	長崎明誠	選択	23	2	41	
	菊池農業	必修	1	1	200	
熊本	熊本中央女子*	必修	2/3	3/3	68	
	熊本フェイス女学院*[e]					
	玉名女子*	必修	2	2	3	
	東稜	選必	1/2/3	1/1/1	37	
	大分東	選必	23	2	18	
	日本文理大学附属*[e]					
	日出陽谷	選択	2/2	2/2	19	
	日田三隅		23/3	2/2	15	
	別府大学附属*[e]					
	別府羽室台	選必	1/2/3	3/3/3	30	
大分	楊志館*	選択	23	2	25	
	都農		2/3	2/2	26	
	富島	必修	12	1	20	
	日章学園*	選択	3	2	9	
	本庄	選択	1	1	14	
	宮崎日本大学*[e]	必修	1	1		
	鹿児島	開陽	選択	1/2/3/4	4/4/4/4	7
	鹿児島東	選必	1/2/3	2/2/3	67	
	沖縄	向陽[e]	選択	3	3(2)	
	那覇国際	選必	2	2	26	

計246校** (2001年度の履修者数) 計5,104

**TJFが確認した、1997年以降に何らかの形態で韓語教育に取り組んだ実績のある高等学校の数。